

# 自己評価票

## 地域密着型サービス自己評価項目

### (評価項目の構成)

**.理念に基づく運営**

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

**.安心と信頼に向けた関係づくりと支援**

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

**.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント**

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

**.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援**

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

**.サービスの成果に関する項目**

**【記入方法】**

複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに管理者が介護職員と協議の上記入してください。

次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。

項目番号23 初期に築く本人との信頼関係

項目番号24 初期に築く家族との信頼関係

項目番号25 初期対応の見極めと支援

項目番号26 馴染みながらのサービス利用

項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援

次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。

項目番号53 身だしなみやおしゃれの支援

項目番号59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援

項目番号60 お金の所持や使うことの支援

項目番号61 日常的な外出支援

項目番号62 普段行けない場所への外出支援

項目番号63 電話や手紙の支援

項目番号64 家族や馴染みの人の訪問

**【用語について】**

管理者 = 指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 グループホーム かねやま

(ユニット名) \_\_\_\_\_

記入者(管理者)  
氏名

佐藤 澄江

評価完了日

平成20年 1月 28日

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		事業所独自の理念は開所時に職員全員で作り上げたが地域密着型サービスとしての理念は検討中である。
2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		今後、運営推進会議や町内会等で意見を頂き、地域密着としての理念を築き上げたい。
3	家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		申し送り、定期会議などでは理念を念頭に置いた話し合いを行い、具体的なケアについて意見の統一を図り、日々の実践に向け取り組んでいる。
4	家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		開所前に地区住民を対象に施設に関して事業所説明会を実施した。運営推進会議やパンフレットにて事業所の役割を伝えるようにしている。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		近隣の方々への挨拶を実施し、時にはお茶等を飲んで頂くよう声をかけ、気軽に会話ができるよう駐車場側にもベンチを配置した。ボランティアの受け入れも行っている。施設周辺は畑が広がっており、畑に来た方に毎日の挨拶を職員が率先して行っている。畑の作物の差し入れも頻繁にある。
5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		地域に清掃活動にも利用者様の体調を見ながらこれからも参加していきたい。
5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		地域の催し物(お祭り、芸能会)などに参加している。地区のクリーン作戦にも参加した。町内会にも参加し町内敬老会に参加させていただいた。また地区の有志やお茶サークルの方々のボランティアとの交流もある。
			地域に清掃活動にも利用者様の体調を見ながらこれからも参加していきたい。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>民生委員、保健推進委員の方々に認知症について知っていただくために管理者はその集まりに出席し啓蒙活動に取り組んでいる。又、町議会議員の見学受け入れや地区社会福祉協議会理事見学などの受け入れなども行った。</p>		<p>職員の知識の向上、レベルアップを図っている段階である。その上で当施設職員は地元採用者がほとんどの為日常的な社会活動の中で地元高齢者への貢献をしたいと考えている。</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>今回初めて自己評価、外部評価を実施するにあたり、サービス評価の意義と狙いについて、全職員で話し合い、取り組んでいる。</p>		<p>外部評価の結果を受け、それを基に施設内での研修家族、地域からグループホームに求められていることを拾い出し職員全体で検討を行い管理者及び主任とサービスの質の向上に努めたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議の度に出席者が異なり、同じ質問を受けることがあるが繰り返しお答えすることでメンバーの方々に事業所の取り組みが浸透している。今のところメンバーの中に利用者代表や御家族は入っていない。</p>		<p>今後は利用者代表や御家族の代表にも参加いただき、会議を開催し様々なご意見を頂き更にサービスの向上に取り組んでいきたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>主に管理者が市町村担当者のところへ行き、些細なことでも確認を行ったり相談している。また、町担当者も事業所に訪問してくれる。入居者の各申請書類の手続き代行も実施している。(介護保険更新申請代行、日常生活用品納付券申請代行等)入退居状況の報告。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は理解しており、その都度職員に伝えたり、パンフレットなどの回覧を実施しているが勉強会はなどはまだ行っていない。</p>		<p>施設内外での研修へ参加した職員により他の職員への報告会及び勉強会を開催し周知を図りたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者は理解しており、その都度職員に伝えたり、パンフレットなどの回覧を実施しているが勉強会はなどはまだ行っていない。</p>		<p>施設内外での研修へ参加した職員により他の職員への報告会及び勉強会を開催し周知を図りたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時にはご本人、御家族への重要事項の十分な説明を行い、事業所の様子を見て頂いている。地域柄、ご家族が遠方に居住を構えているケースが多く、面会時等にお互いの理解を図っている。</p>	<p>今後も必ず事業所の見学をして頂き、事業所の方針等もご理解、ご納得いただいた上で契約を行いたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様と信頼関係の出来たスタッフには意見を言いやすい関係が構築されている。利用者様からの意見は管理者に話しその都度対応している。又、外部団体として県運営適正化委員会の紹介を契約書及び玄関にポスターを貼るなどして周知を図っている。</p>	<p>意見 要望を限られた職員だけではなく全職員と話しやすい関係を目指したい。ご自分の思いを伝えることが困難な利用者に対しては注意深い見守りを行い、わずかな言葉や態度からその思いを知る努力をしたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者様の生活状況やお小遣い帳の記録を毎月郵送している。利用者様の生活状況はお便りの中で担当職員がヶ月の内容を記入している。又、必要時には家族等へ電話連絡を随時行っている。</p>	<p>家族等への報告は引き続き取組んでいきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約時に、苦情などの受け付けについて、施設受け担当者や第三者委員会だでも受け付けている事を口頭で伝えるとともにポスター掲示や契約書にも記載している。来訪時には職員に何でも話して頂ける雰囲気作りに努めている。家族から出された意見は管理者 職員で検討し、解決策を講じ実行している。</p>	<p>家族からの率直な意見を頂ける関係作りと共に、遠方に住む家族が多い為実施には至ってない。家族会を作りたいと考えている。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>現場での意見や提案は介護主任を通したり、直接管理者と話し合う機会が多くある。又、月に一回全体会を開催し話し合いをしている。</p>	<p>○</p> <p>御家族から出された意見は管理者と職員で検討し、解決策を講じている。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>管理者及び非常勤職員以外は利用者の24時間の生活ペースを把握できるよう全ての勤務に配置している。又、管理者は突発的な事態に対応可能であるようシフトには入ってない。その都度必要に応じて柔軟に職員の配置を行っている。また、町外通院などに対し、家族対応が困難な場合、勤務体制を変更しての施設対応を行っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係の重要性を十分に認識している為、職員の交代を行うときは十分に検討している。又、入職・退職についてはその都度毎月発行のおたよりにて家族等へはお知らせしている。開所間もなく急な離職があり、引継ぎ時間が取れなかった事があった。基本的には職員は固定化の方針である。</p>	<p>今後は止むを得ない離職や移動の場合、時期引継ぎ等で最善の努力をし、利用者が受けるダメージを最小限に抑えられるよう配慮する。</p>
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内外の研修の実施や参加を推進し、働きながら知識を高めている。研修の報告は毎月の全体会議で発表し研修報告書は閲覧できるようにしている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県グループホーム連絡協議会の研修の参加により他事業所との交流を図っている。開所にあたっては、同一法人で運営している施設見学、研修を実施した。又、当施設主催の研修会に同町特養等へ参加を呼びかけた。</p>	<p>同一町内にある特養初めとして他の施設との相互訪問や、勉強会を行いネットワーク作りを広げていきたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員が一息入れられる時間を互いに声かけし確保するよう努めている。運営法人の会議が月一回開催されており、その場で管理者が職員からの意見を集約し伝えたり、研修参加について意見を言っている。職員の休憩スペースがはあるがまったく業務から離れたスペースとなっていない。</p>	<p>休憩スペースを有効利用できるようにカーテンを設置するなどの工夫をしたい。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は職員の業務の取り組み状況や勤務姿勢を把握し、労いの言葉をかけている。外部研修参加への促しを行い、順次研修に参加してその質の向上に努めている。職員の心身の健康を保つ為の健康診断を行っている。福利厚生の実のために同一法人が運営する温泉施設の割り引き利用や、大手家電量販店との業務提携による割り引きなどを伝えている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護)</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護)</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ご本人のできない部分をお手伝いする事により生活の質を高め、出来る部分は職員が教えて頂く体制をとり利用者様の知恵を教えていただいたり支えあう関係作りを行っている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等で直近の日常生活の様子を報告している。夏祭り開催時にはご家族へ連絡し、参加・お手伝い頂いた。ご家族による外出支援、外泊支援を促した。また提供地区以外の通院援助などをしていただいている。		利用者様はご家族との関わりの中ではスタッフに見せる表情とは違う面を見せられる為、今後もご家族の協力を得られるようにしたい。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	スタッフは複雑な家族関係にある利用者様を理解し、日頃のご家族への思いを面会時に伝えたり、疎遠にならないように支援している。		ご家族の事情も把握し、引き続き電話や 面会に来ていただくよう働きかける。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様の自宅や友人宅を訪問したり、お盆には自宅に戻られたりご家族とお墓参りをしている。家族対応が困難な利用者様は職員と一緒に墓参へ行く支援を行った。又、ご家族ご親類、近隣住民の御協力、ご理解により実家へ入ったり友人宅訪問は日常的に行っている。		これからも自宅、友人宅訪問を続け、時にはホームに来て頂くよう働きかけたり、地区の行事には積極的に参加したい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者間での相性を考慮し、食事のときのテーブルの配置を考慮している。「お互いに家に帰っても一人だから」と利用者同士が支え合う姿が見られる。		職員が介入することにより更に利用者同士が支え合う姿が多く見られるように配慮したい。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院された方へのお見舞いを行った。退去された方のご家族もホームに足を運び入居者様の方々と談笑されることもあった。		今後もお見舞いや転居された方への面会等は行っていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご自分の思いを話される方にはその都度対応している。意思疎通が困難な利用者様には、ご本人と向き合い、言葉や表情などから希望の把握に努めている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>実態調査の情報や面会時にご家族から得た情報をスタッフが共有している。</p>	<p>今後もご本人との会話や、ご家族からの話を聞くなどして自分らしい生活ができるよう配慮していきたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>毎日の生活状況、健康状態はケース記録やバイタル表に記録している。一人ひとりの様子が把握できるような記録記載に努め、職員間の申し送りをしっかり行い、総合的に把握できるよう努めている。日誌ケース記録とは別に申し送りを作り、細かな情報の共有を図っている。</p>	<p>一人ひとりの出来る力、わかる力を見出すよう努力したい。</p>
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人の希望やご家族の意見を取り入れ作成している。又、職員全体で意見交換をし介護計画に反映させようと、各担当者がモニタリングを行っているが、まだ内容的には不十分である。</p>	<p>○</p> <p>ご本人の思いに添った内容になるよう今後もモニタリング・アセスメントを全員で行い、日々の支援に役立てたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>期間ごとにモニタリングを行い、状態変化時はご家族とも話し合い支援内容の変更は行っている。遠方に暮らすご家族に対しては電話や面会時等に話し合いを行っている。</p>	<p>毎月のケア会議で担当も交え、カンファレンスを行い、より現状に即した計画作成に取り組みたい。</p>



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活状況、健康状態は介護計画に添って個別の記録ファイルに記録し、職員が情報の共有化をしている。		スタッフ一人ひとりに別の表情を見せられる事があり、スタッフそれぞれの気付きを検討し介護計画に取り入れていきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)			
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	初年度より、ボランティア(マジック、お茶)の申し出があり、受け入れを行っている。又、警察にも不測の事態には協力を相互訪問によりお願いしている。運営推進委員には民生委員も含まれている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の図書室に出向いたり、近くの温泉施設を頻繁に利用している。又、町の高齢者の福祉サービスの申請手続き代行などを行っている。	○	介護保険以外のサービス(ボランティアの見守り支援等)の利用に取り組みたい。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員の参加がある。又、地域ケア会議に出席し、様々な立場からアドバイスを受けている。		今後も地域包括支援センターとの話し合いを多くし、より良い事業所作りに役立てていきたい。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所以前からの主治医にて定期受診している。付き添う職員よりご本人の状態を適切に説明して、指示を仰いでいる。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>基本的には主治医に相談している。ご本人の状態が変化したときは主治医より専門医の紹介を仰ぎ受診することもある。主治医には、他の医療機関を受診したときはその報告を必ずしている。</p>		
45				
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時にご家族等に協力して頂き医療機関とも情報交換や相談を行った。入院の場合はご家族等に協力していただいた。入院及び受診時には利用者様の支援方法や身体状況に関する情報を医療機関に提供した。入院前後の相談等は医療相談室と連絡を取り、随時回復状況の確認を行っている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に救急時や終末期についてご家族の意向を確認し、又、施設としての限界についても説明し同意を頂いている。開所後間もなく重大な疾患が発見された入居者様があり、その際にご家族や協力医療機関との連携をとり対応した事があった。その際に全職員でその都度ご家族、ご本人の思いを確認し共有する場を持った。</p>		<p>方針や看取りケアについて定期的に学ぶ機会を設けていく。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>協力医療機関は休日、夜間対応、入院は困難な為入居時にご家族等に対し、救急時や終末期について家族の意向を確認している。又、施設としての限界について説明、同意を頂いている。その内容はケース記録に記載し、全職員に周知している。連絡方法や、ケアの手順についてはその都度話し合いを行っており、少しでもご家族及び入居者様の不安が軽減されるよう努めている。定期的な連絡方法、ケア手順などのイメージトレーニングは、まだ具体例も無いことから実施していない。</p>		<p>今後、全体会議の場などを利用し、連絡方法やケア手順などのトレーニングを実施したい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	他の介護施設への転居の事例はまだない。入院の事例は入居中の健康状態等は家族の承諾の上情報を提供している。	転居される場合はご家族、ケア関係者で協同し同等のケアが継続できるよう配慮し利用者様の混乱を招かないよう、対応したい。
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	個人情報の記録等は、部外者の目に触れないように管理・保管している。又、流出には充分注意するよう話し、全職員から個人情報に関する誓約を頂いている。失禁や着衣が完全に行えない利用者様に対してその都度他の利用者様の目に触れないようまた羞恥心に配慮し援助している。	今後もプライバシーに配慮した支援を行いその尊厳を守りたい。
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	利用者様のお部屋にお邪魔し、他者に気がねしないように配慮した上で利用者様の話を伺ったりしている。ご本人のわかる力に合わせて説明し、自らが決定できる選択肢を提案している。	ご自分の希望をうまく表出できない方には、二択三択で自己決定を促したり、表出しない方とは話しやすい関係を築いていきたい。
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	買い物や散歩等一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。おおまかな一日の流れは決めてある。	限られた職員配置でも利用者様の自分らしい生活を送るよう支援していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護)</p>	ご自分の希望される理容、美容室へ行く支援を行っている。又、自己決定が不可能な入居者様についてはご家族等に伺い馴染みの店へ行ける支援をしている。	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事のメニュー作りには声をかけ参加して頂くようにしている。一人ひとりの好みにも配慮し、好きな物を食べていただくようにしている。一人ひとりの状態に応じて食事の盛り付けや片付け等を職員と一緒に同じテーブルで一緒に食事を取っている。又、外食を取り入れたり、四季折々の土地の食文化に配慮したメニューを取り入れている。</p>		<p>メニュー作りに参加される利用者様が限られているため今後は、他の入居者様の好みも聞き出し、メニューに取り入れて行きたい。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>たばこ、お酒の習慣の方が居ない為提供はしていない。おやつはバイキング方式で自分で選んで食べていただくことも行っている。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>入居時、紙パンツを使用していた方も布パンツにパットのみ使用している。夜間のみ紙パンツを使用されている方もいる。排泄の失敗による不快感を最小限にするよう素早い処理を心がけるとともに、失敗した時には他の利用者様に気付かれないように配慮している。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者様の希望により町内の温泉施設へ出かけての入浴や施設内入浴を実施している。この際利用者様の状態に応じ声かけや、洗身介助を行っている。夕食後や夜間入浴も可能であることを伝え今まで数回の希望があり実施している。</p>		<p>夜間入浴に関しては今後も声かけを行って行きたい。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>起床時間や就寝時間に決まりはないが、昼夜逆転しないようご本人のペースで入眠して頂いている。なかなか眠れない利用者様に対しては温かい飲み物をお出ししお話を伺ったり、添い寝を行うことで安心して入眠頂けるようにしている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p>	<p>利用者様の生活歴や性格を把握し、身体状況によりそれぞれの役割を持って頂いている。台拭き、掃除、盛り付け、洗濯物たたみ等。終了時には必ず感謝の言葉を述べている。楽しみや気晴らしとしてりんご狩り、温泉入浴、音楽鑑賞、ドライブ、散歩、地元温泉施設を利用しての忘年会や地元食堂での食事会、誕生会等をしている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している(認知症対応型共同生活介護)	金銭管理が出来る利用者様には、買い物の際など自分でお金を支払ってもらうようにしている。財布を持っていることで安心する利用者様は財布を持っている。が、基本的に施設側が管理している。外出の際にはご本人へ渡し、使用時には金種の確認や出し入れの支援、計算などの援助を行っている。		
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	ホーム周辺を散歩したり、町内外にドライブに行ったりしている。日中は外のベンチなどへ自由に出てすごしていただいている。又、利用者様の昔からの友人・知人の協力を得て訪問したりを日常的に行っている。		
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している(認知症対応型共同生活介護)	利用者様の希望に応じ、個別に買い物、墓参や自宅へ出かけている。又面会時にご家族とともに近くの食堂へ出かけることもしている。運動会の応援や敬老会などにも参加している。希望があった場合に葉書作成の手助けをしたり、一緒に郵便局に出かけたりしている。		
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	利用者様の希望に応じ電話をかけた、とりつぎを行っている。この際プライバシーに配慮する為事務所及び子機を使って自室で会話できるよう支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している(認知症対応型共同生活介護)	面会時間を設定せず、いつでも来所していただける事を伝えている。又、面会は居室で行ってもらい他入居者様へ気兼ねなくゆっくり過ごして頂けるよう配慮している。希望があれば宿泊も可能な準備はしているが今迄希望はなかった。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベッドからの転落防止、また起立時の補助のためベッド柵を一点のみ使用している。身体拘束については開所前研修により職員に周知、勉強会を行った。		今後も身体拘束による身体的精神的弊害の理解に取り組む。更に研修会への順次参加と、参加者による持ち帰りの話し合いを行い、拘束のないケアに取り組む。

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は玄関の鍵は一切かけていない。夜間、自ら居室の鍵をかけ休まれる方に対しては、ご本人に鍵を開けることの詳細を得、巡視時に鍵を開け対応している。</p>		<p>今後も鍵はかけずに支援したい。</p>
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員は利用者様と同じ空間で記録等の事務作業を行いながら、全員の状況をさりげなく把握するよう努めている。訪室する場合は必ずロックや声掛けをしている。日中居室で過ごされる場合は時々声かけし様子を確認している。夜間は定時や物音がしたときに巡視している。</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>危険な物(針・はさみ等)も希望があれば提供し、回収時は数の確認をしている。利用者様の状態に応じ、編み棒や毛糸針、小バサミを自己管理していただいている。薬に関しては、全て施設側で管理している。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりの身体状況を把握するよう職員間で申し送りや意見の交換を行い、事故防止に取り組んでいる。事故が発生した場合、速やかに事故報告を提出し、職員全員が確認して、再発防止に努めている。</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>急変時のマニュアルと連絡網は事務所内に掲示している。施設内にAEDが設置されており職員は取り扱いの講習を受けたが、定期的な訓練は実施していない。</p>		<p>今後は定期的な訓練を実施したい。又施設内外で救命講習等も受講したい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練を4回実施した。昨年12月には消防署の防火安全指導を受けた。地域の人々の協力を得るような働きかけが不足している。</p>		<p>地域協力体制については運営推進会議で協力を呼びかけたり、自治会等に協力をお願いする。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>事故が発生した場合は早急にご家族に連絡し、事故の状況や怪我の有無を伝えている。その後の対応についてもご家族と相談し行っている。</p>	<p>高齢者の生活にはリスクがあることを理解して頂くとともに、日常の介護を見て頂いたり利用者ご本人の状態を知って頂く。利用者様の活動域を制限せず、生活出来るよう支援していき、ご家族との信頼関係も築いていく。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日定時のバイタルチェックを行い、食事量、排泄回数など記録している。またいつもと違うと感じた時はご本人に体調を聞いたり様子観察し必要に応じ早急に受診している。全職員が記録や申し送りにて情報を共有している。</p>	<p>今後も定時のバイタルチェックを行い、利用者様の健康管理に努めていく。また、利用者様の小さな変化やサインを見逃さないようにし、どんな小さなことでも一人で判断せず上司に相談したり、受診の支援をしたい。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬時は、その都度ご本人へ手渡し内服の確認を行っている。受診状況、内服薬一覧のファイルを作成し、利用者様の状態変化時に医療機関へ情報提供を行っている。使用している薬の目的、副作用については薬指示書やインターネットで情報収集し職員周知を図っている。又、何時でも副作用などの確認ができるよう個人ファイルに薬指示書等をファイルし、何時でも確認できるようにしている。</p>	<p>今後も利用者様が服用している薬の名前と目的、副作用は覚えるようにしていく。更に、もっと調剤薬局で頂く薬指示書を活用していきたい。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>病院で下剤をもらっている方もいるが、牛乳を多めに飲んで頂いたり、食物繊維の多い食物を、おやつや食事に取り入れ提供している。又、排便を促すために朝の体操や散歩などを行っている。</p>	<p>今後もメニューに食物繊維の多い食材を取り入れ、便秘対策を行い、食物などで自然排便を促したい。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後声かけし、出来ない方に対しては職員が介助し行っている。拒否のある方に対しては時間をずらしたり工夫した声かけを行っている。義歯洗浄も上下外してご本人にやって頂いたり、足りない所は職員が補助している。</p>	<p>自立にて口腔ケアができる利用者様に対してもその尊厳を守るよう配慮し口腔ケアチェックを行うようにする。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事やおやつ以外でも自由に飲用出来るよう心掛けている。自ら要求できない利用者様に対してはこまめに声かけを行っている。食事や栄養バランスや嗜好を考慮している。利用者様の状態に合わせ刻んだりすりおろしたりして提供している。摂取量、摂取状況を記録し、情報を共有している。</p>	<p>○</p> <p>嗜好を考慮した食事の提供をしていきたい。また、ゆっくり食事をする利用者様に対しては、急かすことのない支援を今後も行いたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルがある。外出した際はうがいや手洗いをしている。来所された方にも入り口にて手指消毒やマスク着用をして頂けるよう設置している。その他、インフルエンザ予防接種を受けたり、家具、手すり等の消毒をしている。	○	現在、入浴は一人ずつ行い、一人ずつお湯を入れ替えている。失禁した衣類については漂白剤で消毒してから洗濯している。現時点で感染症になっていないため、今後も継続して行っていきたいと考えている。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は前日に配達してもらい、新鮮なうちに調理するようにしている。また、おしぼり、布巾や台布巾は、毎回消毒し使用している。台所用品の消毒や床の掃除も定期的に行っている。		今後も食中毒には充分注意し、おいしく楽しい食事を提供していく。また、包丁、まな板などの器具は毎回アルコール殺菌などで消毒していく。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先で休むことの出来るようベンチを置いてある。その他、花の寄せ植えや花を飾ったりしている。		七夕、クリスマス、正月には、笹の葉、リース、門松と玄関先へ飾った。今後も同様に行い四季折々を楽しめるようにしたい。また、外ベンチにはよく利用者が腰かけ会話を楽しんでいるが、近所の方も腰かけ話ができるようにしていきたい。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間にはイベント時撮った写真や花を飾っている。季節がわかるよう飾りをかえたりと工夫もしている。しかし、あまり飾りすぎで障害物になったり空間が狭くならないよう注意している。		利用者様にとって、ご家庭と同じように落ち着ける空間を提供できるように心掛けてたい。今後も季節を感じることが出来る飾りを工夫していきたい。また、共有空間に利用者様の好みを反映するようにし、利用者様の作品なども飾りたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルには利用者様それぞれの所定の席があり、落ちついて過ごされる。また共有空間のソファはTV視聴の際や、利用者同士が過ごされるよう配置している。部屋は個室となっている。玄関事務所前のベンチイスの設置により少し集団から離れたときや、職員に用事がある時など使用して頂いている。		共有空間での過ごし方は自由であり、利用者様それぞれの過ごし方でくつろいでおられる。



	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時はごくわずかな持参品だったが自宅は外泊される度に自分の持ち物を持ってこれ居室内を飾っている。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>朝必ず訪室し、利用者様に声かけし換気を促したり、直接換気をさせて頂いている。居室の空調の調節を自力にてされる方の適温調整に配慮している。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>共有空間があまり広くない為、手すりにすぐに手が届き、歩行困難な方でも見守りが可能。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>居室の入り口に色分けした花模様の表札を張り区別できるようにしたり、会話の中でなじみの言葉を使い理解して頂くようにして、混乱や失敗を防ぐよう努力している。</p>		
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ホーム裏に畑があり、作物を作り収穫を楽しんでいる。玄関先や庭にベンチを置きいつでも日向ぼっこができるよう工夫している。</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほ <b>ぼ</b> 全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	その他( )
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	その他( )
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほ <b>ぼ</b> 全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他( )
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほ <b>ぼ</b> 全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他( )
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほ <b>ぼ</b> 全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他( )
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほ <b>ぼ</b> 全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他( )
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほ <b>ぼ</b> 全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他( )
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほ <b>ぼ</b> 全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	その他( )
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほ <b>ぼ</b> 毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	その他( )

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	その他( )
98	職員は、生き活きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	その他( )
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	その他( )
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない	その他( )

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

○ほとんどの入居者様が以前の生活の場から近い場所で生活できる為、自宅にいる時と同じように近隣の方と顔を会わせたり、ご家族との面会も多くあり、ご家族、地域の方との距離が広がらないような環境にあります。周りは山々で囲まれています。春は散歩しながらの山菜取りを楽しまれたり、町内の温泉入浴を楽しまれています。ホーム忘年会と称して温泉施設での昼食会を開催しており、入居者様がゆったりされ笑顔満載のひと時でした。今後も入居者様が自宅と変わらない生活を送れるよう職員一同専門性を高め、より良いサービスの提供に繋がりたいと思います。